### 経営理念・経営方針

富士電機は、「豊かさへの貢献」「創造への挑戦」「自然との調和」を経営理念に掲げ、

エネルギー・環境事業で社会に貢献していくことを経営方針の柱に据えています。

富士電機とその社員は、行動指針である企業行動基準に基づき、経営理念・経営方針を実践することにより、

お客様、お取引先様とともに、社会・環境課題の解決、お客様価値の創造に応え、

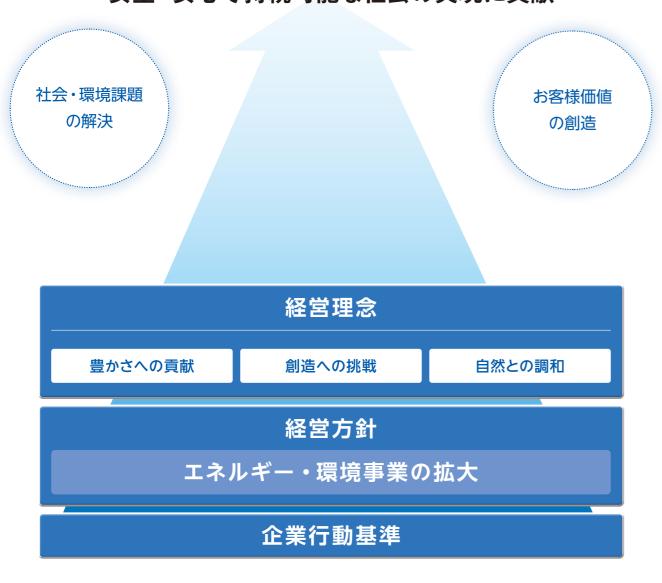
SDGsの発展、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

エネルギー・環境事業を通じて、社会に貢献するとともに持続的成長企業を目指します。

#### SUSTAINABLE GALS



### 安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献



### 経営理念

富士電機は、地球社会の良き企業市民として、 地域、顧客、パートナーとの信頼関係を深め、誠実にその使命を果たします。

豊かさへの貢献

創造への挑戦

自然との調和

スローガン 熱く、高く、そして優しく

### 経営方針

- 1. エネルギー・環境技術の革新により、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。
- 2. グローバルで事業を拡大し、成長する企業を目指します。
- 3. 多様な人材の意欲を尊重し、チームで総合力を発揮します。

### 企業行動基準

本基準は、富士電機とその社員一人ひとりが、「経営理念」を実践し、社会的責任を果たすため に、国の内外において関係法令・国際ルールおよびその精神を理解し遵守しつつ、高い倫理観 を持った行動ができるように、富士電機とその社員の判断の拠り所や行動のあり方を定めたも のです。

- 1. 人を大切にします
- 2. お客様を大切にします
- 3. お取引先様を大切にします
- 4. 株主・投資家を大切にします
- 5. 地球環境を大切にします

- 6. 社会への参画を大切にします
- 7. グローバル・コンプライアンスを最優先します 7-1. コンプライアンスの徹底
  - 7-2. リスクマネジメントの徹底
- 8. 経営トップは本基準の実践を徹底します

企業行動基準の詳細はウェブサイトに掲載

https://www.fujielectric.co.jp/about/company/contents\_00\_04\_01.html

### ブランドステートメント

# Innovating Energy Technology

ブランドプロミス

電気、熱エネルギー技術の革新の追求により、エネルギーを最も効率的に利用できる 製品を創り出し、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。

Fuji Electric Report 2023 Fuji Electric Report 2023

### エネルギー・環境事業

富士電機は、コア技術であるパワー半導体とパワーエレクトロニクスのシナジーを徹底的に追求し、パワエレ、半導体、発電プラント、 食品流通の4事業により、産業・社会インフラ分野において安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。

## クリーンなエネルギー

#### エネルギー の安定供給

### 省エネ 自動化

#### パワ エレ

### 発電プラント





水力発電

### エネルギー



電機盤

エネルギー マネジメント

パワーコンディショナ 変圧器



変電システム



施設•電源



ファクトリー オートメーション



インダストリー

プロセス オートメーション



社会ソリューション

### 食品流通



自動販売機



店舗設備機器

システム

ソリューション

#### エンジニア

リング・サービス





受配電・制御機器 無停電電源装置





インバータ モータ サーボシステム 制御機器



計測機器 スマートメータ

### 半導 体



産業分野











自動車分野

12 つくる責任 つかう責任

CO

#### 事業で貢献する SDG s 重点目標



再生可能エネルギーの拡大 エネルギー効率の改善



産業プロセスにおける CO2 排出量削減 産業・社会インフラの



安全・安心な都市インフラ サービスの構築 持続可能な輸送システム



化学物質・廃棄物の 適正管理、放出の削減



製品を通じた社会のCO2 排出量削減

生産時の温室効果ガス 排出量削減

5 Fuji Electric Report 2023

### エネルギー・環境事業の歴史

富士電機は、1923年の創業以来100年にわたり、エネルギー・環境技術の革新を追求し、クリーンなエネルギー、エネルギーの 安定供給、省エネ、自動化に貢献しています。 産業・社会インフラの分野でこれまで培ってきた技術、製品、幅広いお客様との信頼関係を大切にし、今後もお客様が抱える エネルギー・環境問題に対応していきます。

#### 創業期 戦後復興~高度成長期 オイルショック~ 安定成長期 環境の時代へ 主な製品の納入実績※ 工業の近代化に向けて 電力・鉄道インフラ整備、産業の発展に オイルショックによる 省エネ需要の拡大、 環境大気汚染などを背景に産業・社会インフラ分野 (2022年度現在) における環境対策が進む 電力需要の拡大 向けて電力安定化などの需要拡大 自動化需要の拡大 • 水力発電 745台(24.1GW) 1930 1960 1970 国内シェア3位 1977 • 地熱発電 クリーンなエネルギー 当社初の本格的地熱発電設備 フラッシュ 84台(約3.6GW) を受注 (エルサルバドルの電力 世界シェア1位 庁向け40MW) バイナリー 2台(10MW) 1966 1979 1998 •太陽光発電(EPC) 2017 水車第一号機4.850HP 東海原子力発電所 当社初の高落差大容量揚水発 100kWりん酸形燃 単機容量世界最大 国内最大級の地熱 26件(約0.4GW) フランシス水車を製作。 営業運転開始 電設備を納入(韓国・清平揚水 料電池を納入 140MW地熱発電所 バイナリー発電設備を 国内シェア2位 上の代発電所 (栃木県) (原子力圧力容器な 発電所) 運転開始(ニュージー 納入 (滝上バイナリー に第一号機を納入 どを製作) ●燃料電池 100台以上 ランドナ・アワ・プル 発電所向け5050kW) ワ地熱発電所) 1930 1964 1974 2022 電動機の 水銀整流器の 製造開始 製造開始 電力用モールド変圧器の 天然エステル油適用 大容量変圧整流器 S-Former 製造開始 製造開始 初号機を納入 製品化に成功 変圧器を発売 • 変電設備: 変圧器 2,500台以上 エネルギ 2012 開閉装置 1.1万台以上 メガソーラー用PCSを発売 ● モールド変圧器:10万台以上 パワーコンディ (世界で初めて実用化した 1925 1954 パワー半導体 • 大容量変圧整流器 変圧器の製造開始 超小型電磁開閉器 漏電遮断器の開発 とともに進化 ショナ (PCS) 新3レベルモジュールを搭載) 約300台(約28.1GW) 当社製第一号機を の製造開始 2014 の安定供給 世界シェア1位 炭鉱会社に納入 SiC搭載PCSを発売 器具 電磁開閉器 国内シェア1位 1982 配線用遮断器 国内シェア2位 1966 1992 2016 中大容量 トランジスタ 世界最大容量IGBT方式 • UPS パワー半導体 SiCパワー半導体 大容量UPS UPS (200kVA) を発売 UPSを発売 UPSの開発 とともに進化 国内シェアトップグループ 装置 (UPS) 搭載北米向け大容 (1.200kVA)を発売 量UPSを発売 (7500WXシリーズ) 1976 1984 プログラマブルコントローラ PLC MICREX-F 2017 シリーズを発売 (PLC) FUJILOGシリーズの SiC搭載新幹線用 生産開始 省エネ 主変換装置を納入 1976 2012 1989 • 汎用インバータ 業界に先駆け、 IGBT搭載インバータを発売 国内初、SiC-SBD搭載 パワー半導体 国内シェア2位 低圧インバータ 産業用インバータの開発 とともに進化 汎用インバータ の生産開始 1959 2016 • IGBTモジュール バイポーラトランジスタ 第1世代IGBT 新3レベル変換回路と 車載用直接水冷型パワーモジュール シリコンダイオード 世界シェア3位 専用モジュールの開発 の製造開始 の製造開始 の製造開始 の出荷開始 (RC-IGBT内臓) 半導体 2010 2018 産業機器用第7世代 SiCモジュール の開発 RC-IGBTを出荷開始 • 自動販売機 1973 1969 2011 2023 600万台以上 自動販売機の オープン ハイブリッドヒート サステナ ポンプ自動販売機 国内シェア1位 ショーケースを発売 自動販売機 製造開始 in i を発売 を発売 1976 • オープンショーケース ホット&コールド自動販売機 70万台以上

※ シェアは2022年度実績、当社推定。地熱発電のシェアは2000年以降受注実績、太陽光発電のシェアは産業用PCS500kW以上級、2012年FIT適用以降出荷実績